

平成28年度 小松市立今江小学校 学校評価結果報告書

小松市立今江小学校

	自己評価				学校関係者評価	今後の方向性 (改善計画等)
	評価項目と具体的取組	評価指標	達成度判断基準	取組の状況		
① 組織的な学校運営	<p><目標>人材育成</p> <p>主任等を中心に、教員の専門性と同僚性を活かし、協働する学校作りをめざす。 【学びの指針+11条】</p>	<p>【成果指標】</p> <p>主任等のリーダーシップのもとで、各分掌が組織的に運営されている。</p>	<p>職員の学校運営への参画意識</p> <p>A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満</p>	<p>「十分に取り組んでいる」「取り組んでいる」と答えた教職員100% 定期的に校務分掌部会が開かれ、主任や担当者を中心に十分な話し合いがなされ、質の高い提案、さらに教育活動の実践へとつながっている。</p>	<p>学校関係者評価者による意見</p> <p>A A A</p>	<p>企画委員会において、学校の抱える課題や重点取組事項について共通理解を図りながら部会間の連携を図っていく。今後も、教職員一人一人が学校経営ビジョンの具現化に向け、組織的協働的に取り組んでいく。</p> <p>今後も職員同士で児童の情報を共有し、「報告・連絡・相談」を徹底する。また、あたたかな人間関係作りやいじめ・不登校対応について考える校内研修の充実に努める。</p> <p>「深い学びにつながる主体的・対話的な授業づくり」に向けて、さらに研修・研究を行っていききたい。</p>
	<p><目標>いじめ・不登校早期発見・対応</p> <p>教員個々の安全意識や危機管理能力を高め、いじめ等に組織的に迅速的確に対応する。</p>	<p>【努力目標】</p> <p>いじめ基本方針に基づき、未然防止、早期発見し、問題等には適切な対応ができている。</p>	<p>未然防止策の実施、組織的な問題対応</p> <p>A：迅速的確に対応が行われている B：対応している C：対応に問題がある D：対応できていない</p>	<p>「十分に取り組んでいる」「取り組んでいる」と答えた教職員100% 校内研修を通して、いじめ・不登校への対応や未然防止の方策を共通理解した。また、問題に対しては管理職への「報告・連絡・相談」を徹底し、組織的な対応を行った。</p>		
	<p><目標>指導力の向上</p> <p>教員研修と学校研究を充実により、教師の人間力・授業力の向上を図る。 【学びの指針+10条】</p>	<p>【成果指標】</p> <p>意欲的に研修や研究に取り組み、自己の授業力や指導力の向上につなげている。</p>	<p>教師の研修・研究への意欲</p> <p>A：「学びの集団」になっている B：研修や研究への意欲が高い C：研修や研究への意欲はある D：意欲が低く向上が見られない</p>	<p>「十分に取り組んでいる」「取り組んでいる」と答えた教職員100% 模擬授業や指導案検討を踏んだ研究授業や部会授業がしっかりと実践された。それらから得た成果を、さらに自分の授業に活かすことができた。</p>		
② 確かな学力の育成	<p><目標>「わかる・できる」授業の推進</p> <p>ねらいを明確にした「わかる・できる」授業で児童に学ぶ楽しさと成就感を与える。 【学びの指針+1・3・6条】</p>	<p>【満足度指標】</p> <p>「わかった」「できた」と達成感や成就感を感じる授業作りが推進されている。</p>	<p>児童の授業への満足度</p> <p>A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満</p>	<p>「わかった」「できた」と感じている児童95% 児童の意欲を引き出す課題提示の工夫や学習内容の定着を確認する適用題に確実に取り組むことができた。</p>	<p>A A B</p>	<p>ふりかえり活動や学び合い等を通して、児童自身が「できるようになったこと」を実感できる工夫をしていきたい。</p> <p>しっかりと話を聞ける児童が多いと感じる。主体性の弱さを感じるが、今はしっかりと話を聞けるというこの良さを大切にしたい。</p> <p>大きな集団である中学校に進んでも、流されない芯の強さを持った児童に、小学校の間から育ててほしい。</p> <p>形成的評価を重視した「習得」と「定着」を図る取り組みの継続および開発を、今後も積極的に行う。</p> <p>月8冊に届かない児童は、各クラスで固定されていることがわかった。そのような児童への声かけや図書館へ連れて行く等の支援をさらに行っていく。</p>
	<p><目標>学力の定着</p> <p>学力調査の分析結果を共通理解し、適切な対応に迅速に取り組み、学力向上と定着をめざす。 【学びの指針+11条】</p>	<p>【努力目標】</p> <p>全教職員で問題を把握した上で、本校児童の弱点補強策を学校全体の課題として取り組んでいる。</p>	<p>問題や弱点の把握と解決の授業実践</p> <p>A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満</p>	<p>「十分に取り組んでいる」「取り組んでいる」と答えた教職員100% 「学力調査に基づくチェックリスト」「週末プリント・テスト」等、児童の弱点を把握し、補強する取り組みを、全校共通で行うことができた。</p>		
	<p><目標>読書活動の推進</p> <p>各教科・領域等と関連した読書活動を工夫改善し、児童に望ましい読書習慣を確立する。 【学びの指針+8条】</p>	<p>【成果指標】</p> <p>一人の児童の一月の読書量が8冊を超え、市の読書目標年間100冊達成されている</p>	<p>月8冊以上読書する児童数</p> <p>A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満</p>	<p>「月8冊以上読書する児童数」は9月77%、10月87%、11月89%、12月88%、どの月も90%には届いていないが、平均貸出冊数は、125.6冊となり、市の目標を超えて</p>		
③ 豊かな人間性の育成	<p><目標>親和的な集団づくり</p> <p>特別活動・児童会活動・委員会活動・クラブ活動等を充実し、自尊感情を高め、親和的な集団作りを推進する。</p>	<p>【満足度指標】</p> <p>親和的な学級作りが進み、共感的な人間関係が醸成されている。</p>	<p>児童の学校・学級での満足度</p> <p>A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満</p>	<p>「学校や学級での毎日が楽しい」と答えた児童95%、「周りの人にやさしくしたり、親切にしたりしている」と答えた児童94% ほっとカードや人権集会の取り組みなどにより、親和的な学級作りが進み、児童は安心して学校生活を過ごすことができた。</p>	<p>A A A</p>	<p>今後も特別活動・児童会活動・委員会活動・クラブ活動等を充実させる。また、児童が互いのよさを認め合えるような活動を工夫し、自己有用感の向上と親和的な集団作りを推進する。</p> <p>横断歩道で、止まってくれた車に頭を下げてお礼を言う児童。それを下級生にも促す上級生。良い縦のつながりができている。今江地区の良さ、財産である。</p> <p>今後は、教科化に向けての評価の方法などを考え、より効果的な道徳教育の在り方を考えていきたい。</p> <p>今後も、学年の実態に応じた情報モラル教育を取り組んで行く必要がある。特に、携帯電話やスマートフォン、インターネットの危険性を今後児童や家庭にも積極的に伝えていき、児童を守る手立てを</p>
	<p><目標>道徳教育の推進</p> <p>道徳の時間を充実させ、豊かな体験活動とつなげることで、心に響く道徳教育を推進する。</p>	<p>【努力目標】</p> <p>道徳教育年間指導計画（別業）に基づき、計画的に授業実践が行われている。</p>	<p>別業に基づく授業実践率</p> <p>A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満</p>	<p>「十分に取り組んでいる」「取り組んでいる」と答えている教職員100% 各学年とも計画的に道徳教育が実践されている。</p>		
	<p><目標>情報モラル教育の推進</p> <p>情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方や態度を、教育活動全体の中で学ぶ。</p>	<p>【成果指標】</p> <p>情報教育指導計画にもとづき、計画的に授業実践が行われている。</p>	<p>年間計画に基づく授業実践率</p> <p>A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満</p>	<p>「十分に取り組んでいる」「取り組んでいる」と答えた教職員100% 各学年とも計画的に情報モラル教育が実践されている。</p>		

	自己評価				学校関係者評価	今後の方向性 (改善計画等)	
	評価項目と具体的取組	評価指標	達成度判断基準	取組の状況	達成状況		学校関係者評価者による意見
④ 健やかな体の育成	<p><目標>よりよい生活習慣の確立</p> <p>児童自身が健康や生活に関心を持ち、よりよい生活習慣や食生活づくりを推進する。 【学びの指針+8条】</p>	【満足度指標】	<p>児童の健康や生活への意識</p> <p>A：90%以上</p> <p>B：80%以上</p> <p>C：70%以上</p> <p>D：70%未満</p>	<p>「健康な体をつくるために進んで取り組んでいる」と答えた児童92%。学年に応じて食育指導を行い、学校保健委員会では目の健康や姿勢について学習し、家庭への呼びかけを行った。また、夏季は脱水症予防の呼びかけを、冬季に入ると感染症予防のため手洗い・うがいの呼びかけを常に行い、自ら健康を意識できるよう促した。</p>	A	<p>安全な登下校のために、通学路の見直しを検討してはどうか。</p>	<p>今後も生活チェックカードを継続して行っていく。食育授業や学校保健委員会、その他様々な機会を捉えて、児童の健康な生活への意識を高めていく。</p>
	<p><目標>体力の向上</p> <p>体育授業や生涯スポーツの工夫改善で、体育指導の充実を、体力の向上をめざす。</p>	【努力指標】	<p>課題に基づく授業の創意工夫</p> <p>A：90%以上</p> <p>B：80%以上</p> <p>C：70%以上</p> <p>D：70%未満</p>	<p>「十分に取り組んでいる」「取り組んでいる」と答えた教職員100%。今年度は体力・運動能力調査の中でも県平均を下回る「立ち幅跳び」の記録向上に重点を置き、取り組んだ。学校全体で取り組んだ結果、全学級で10cm以上の大幅な伸びが見られ、跳能力の向上を達成できた。</p>	A	<p>まだ危険な自転車の乗り方をしている児童が見られる。学校地域共に指導を継続していきたい。</p>	<p>本年度は立ち幅跳びの記録向上を達成することができたが、本校の体力の課題はまだ多い。その中でも「投能力」は県平均を大きく下回っている。来年度は「投能力」の向上に力を注ぎ、ソフトボール投げの記録向上に向けて取り組んでいく。</p>
⑤ 家庭・地域との連携	<p><目標>学校からの情報発信</p> <p>各種便りやホームページで積極的に保護者や地域に情報発信し、学校教育への参画を進める。 【学びの指針+9・12条】</p>	【満足度指標】	<p>保護者の満足度</p> <p>A：90%以上</p> <p>B：80%以上</p> <p>C：70%以上</p> <p>D：70%未満</p>	<p>「各種便りで親子のコミュニケーションをとっている」と答えた保護者88%。HPや学級通信等を通して、学校行事や各学年の行事、授業の様子を更新し、学校の様子を伝えている。</p>	B	<p>学校側がお便りやHPで情報を発信しているのに、十分なコミュニケーションがとれていないのは残念に思う。「お便りは？」と保護者の方からコミュニケーションをとれるようになるといい。</p>	<p>今後も、児童の学校での様子が家庭に伝わるよう、各種便りを配布する。ホームページも定期的に全学年が更新されるよう積極的に行っていく。</p>
	<p><目標>郷土愛の育成</p> <p>地域人材の活用と、ふるさと学習の推進、地域行事への積極的参加を促し、郷土愛の育成に努める。 【学びの指針+12条】</p>	【満足度指標】	<p>児童の地域の方への感謝の割合</p> <p>A：90%以上</p> <p>B：80%以上</p> <p>C：70%以上</p> <p>D：70%未満</p>	<p>「今江町や今江小学校が好き」と答えた児童94%。農業体験や歴史講話、地域行事への参加等、地域人材と関わる活動を計画的に、数多く実施したことで、児童にふるさとへの誇りや感謝の思いを培うことができた。</p>	A	<p>休日も子どもは忙しく、子ども会行事等への参加率は高いとは言えない。地域行事の企画運営を、上級生(6年生や中学生)に任せてみる方法も考えてみたい。</p>	<p>今後も、地域人材やふるさと教材を活用する学習の、計画的な実施や開発を、積極的に行っていく。</p>
	<p><目標>家庭学習の習慣化</p> <p>家庭学習の習慣化を、保護者と共通の目標を持って達成のために連携をする。 【学びの指針+8条】</p>	【満足度指標】	<p>学年に応じた家庭学習達成者の割合</p> <p>A：90%以上</p> <p>B：80%以上</p> <p>C：70%以上</p> <p>D：70%未満</p>	<p>目標時間「10分×各学年+30分」の達成者数75.7%。第1回目(70.8%)より達成者数は増えている。「家庭学習の習慣が身につけている」と答えた保護者90%。週末プリントや漢字プリント、自学ノートの掲示等、具体的な取り組みを提示し、学習意欲を高めてきた。宿題を中心に家庭学習の習慣化が図られている。</p>	B	<p>ノーゲームデー・家庭学習強化週間周知のメール配信は、良い方法である。是非継続していただきたい。</p>	<p>A評価とはなっていないが、年々回を重ねるごとに達成者数は上がっている。今後も、具体例を提示しながら取り組みを継続し、児童への声かけ・指導をしていく。</p>